

21世紀を生きる子どもたちに必要な“主体的に学ぶ力(学びに向かう力)”は遊びの中でこそはぐくまれます
京都市立幼稚園では“教えられる”のではなく“興味をもって自ら学びとる(学びの芽生え)”環境づくりを行っています

幼稚園

幼稚園での具体的な直接体験が小学校の体系的な学習の基盤となりスムーズに「わかる!」ことへとつながります。

生命誕生の感動が探究心になり、そばに置かれた図鑑を夢中になって見ることで、学び方を自然に身に付けます。みんなで知る喜びや、生命の不思議、尊さも学びます。これが、**生活科や理科の学習**につながります!



全力で遊ぶことで、全身を思いきり動かします。競い合い、勝ったり負けたりする体験、心の葛藤、ルールや仲間と協力する大切さ、やりきった満足感...多くの体験が、人とのかかわる力や健康をはぐくみます。**道徳性の芽生え・健やかな体づくり**の基盤です。



年長児の生活発表会。ひとつの劇遊びを完成させます。場面のイメージを膨らませ、身体で表現して役になりきり、役の気持ちを想像しながら言葉を考え、道具をつくり、先生と友達みんなでお話をつくりあげていきます。**国語や言語活動・表現活動**につながる遊びです!



夢中になって積み上げることで、高さや量を感じたり、自分で考え工夫し、目的のために協力することを学び、ひとつのことを成し遂げる達成感を味わいます。**算数の学習や協働活動**につながる体験です!



水を流したり砂を固めたり、水や砂の働きや力を、遊びを通して体感! 遊びをじっくり見守っていると... 筒を調節したり、傾斜を変えたり、砂や水を増やしたり、減らしたり... いろいろ試して創意工夫する力を深めます。**生活科や理科の学習**につながる実体験です!



小学校

幼稚園で“好きなことに夢中になって遊んだ”子どもたちは知りたい! 学びたい! やってみたい! という意欲をもって小学校に入学します。その意欲が学びに向かう力をはぐくみ、小学校の体系的な学習に主体的に取り組むことができます。



京都市立幼稚園では幼小連携に取り組んでいます!

子ども同士の交流、先生同士の連携、カリキュラムの接続をめざして、各園工夫を凝らして取り組んでいます。地域の子どもの異年齢の交流は、安心感と地域を愛する心をはぐくみます。

先生同士の連携



子ども同士の交流



※京都市立小学校では、私立幼稚園や保育所等との連携も行っています。

幼小連携により幼稚園での“学びの芽生え”から小学校での“自覚的な学び”へとスムーズにつながります